



2013年(平成25年) 8月26日 月曜日

経済4面 国際6面 歌壇俳壇9面 スポーツ11.12.13面 生活19面 科学20面 小説20面/囲碁・将棋25面 文化の扉27面/地域28面 TV・ラジオ23.25.32面

朝日新聞大阪本社

発行所:〒530-8211大阪府北区中之島2-3-18 電話:06-6231-0131 www.asahi.com

SUZUKEN http://www.suzuken.co.jp

Design Your Smile 健康創造の スケンケルーフ

オピニオン・社説・声 8面 ■社説 もんじゅをやめよ/道州制の原点は ■風 中国人と日本人、反感と敬意のはざま

消えるホワイトビーチ

地球 異変 白く輝く砂で知られるフィリピンのボラカイ島に危機が迫っている。看板の砂浜が年々狭くなり、満潮時はパラソルも置けないほど。いったい何が? 2面

まなあさ 知と学びのサミットに300人

ノーベル化学賞受賞者の田中耕一さんらが科学の魅力と大切さを語る「朝日知と学びのサミット」が開かれ、高校生ら約300人が熱心に聴き入った。 16.17面

原発上空 飛行禁止の法制化 求める声

飛行制限された原発の上空付近を米軍機が飛ぶ姿が目撃されてきた。5日には沖縄県で米軍ヘリが墜落。25年前、近くで米軍ヘリの墜落事故があった伊方原発(愛媛県)の地元では飛行禁止の法制化を求める声上がる。 31面

災害廃棄物処理 地方ごとに具体策 3面

タイの最低賃金引き上げ 中小直撃 6面

五輪金の村田、TKOプロデビュー 11面

忍者の仕事 本当は地味だった? 27面

デジタル版 当選者と支持者、意見にズレ

朝日新聞と東大・谷口研究室が参院選後、有権者の政策への意見を調査。各党当選者と支持層の間に、憲法や原発などでズレがあるのがわかります。http://t.asahi.com/c835

www.asahi.com 専用窓口 0120-383-636(日・祝休み)

Weather forecast table with columns for city (大阪, 神戸, 京都, 大津, 奈良, 鳥取, 松江, 高松, 松山, 徳島) and weather icons/conditions.

# 鍼灸院で訪問診療偽装

## 医師、不正請求の疑い

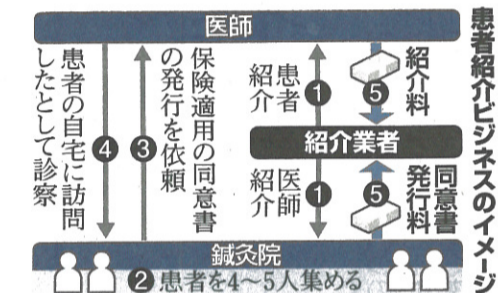
患者紹介ビジネスを手にする大阪市の業者が鍼灸院に患者を集め、医師の診療を受けさせていたことが分かった。患者の居住場所以外で診ても、訪問診療として診療報酬を請求することはできないが、医師は自宅を診たように装って不正請求した疑いが強い。厚生労働省は調査する方針だ。

## 大阪の業者仲介

この紹介業者は大阪府中、患者約5人を同じ時間、中央区の医療コンサルタント会社に集め、医師が鍼灸院や医師約50人と契約を結んでおり、「鍼灸院に患者を集める業者は全国にある」と話している。

### 患者紹介ビジネス

患者をまとめて医師に紹介し、見返りに診療報酬の一部を受け取るビジネス。医師が紹介業者に支払う紹介料の相場は、訪問診療報酬(患者1人につき月約6万円)の2割。訪問診療の報酬が外来の15倍に上ることに着目した新卒のビジネスだ。法令の規制はないが、厚生労働省は不適切として規制を検討し始めた。



設など患者が暮らす場所に限られ、鍼灸院で診ても請求できない。だが、患者への医療費通知や患者らの証言によると、医師は鍼灸院でしか診ていないのに訪問診療として請求した。請求時に診療場所を記す必要はなく、紹介業者は医師や鍼灸院への営業で「〇〇で

診ているかはわからないから大丈夫」と説明していた。鍼灸院が患者を5人集めるのは、医師が一度に診察できて効率が良かったからだ。紹介業者から営業を受けた鍼灸院が録音した記録によると、業者は「5人だ

と」時給に換算するといひカネになる。人数が少ないと医師と交渉しづらい」と話している。鍼灸院にも利点がある。はり師やきゅう師の診療の保険適用には、医師の診断と同意書が必要だ。医師が鍼灸院に来て一度に多くの

患者の同意書を書いてくれれば、患者の自己負担は1割になり、「客」を呼び込みやすい。このため鍼灸院も、患者の1症状あたり税込み3150円を同意書発行料として紹介業者に支払う仕組みだ。紹介業者は「鍼灸院の要

望で始めた。勉強不足で見切り発車でやってしまった。ただ、最終的には医療機関が判断してやったこと。うちの手法を模倣して自分でやっている医者もいる」と話す。医師は取材に応じていない。(月籠彩子、沢伸也)

## 年収にに応じ負担2割案 介護保険夫婦で三百数十万円軸

厚生労働省は、収入が一定以上の人が介護保険サービスを利用する時の自己負担割合を、今の1割から2割に引き上げる方針を固めた。対象は「夫婦世帯で年収三百数十万円以上」とする案を軸に検討を進める。来年の通常国会で介護保険法を改正し、2015年度の実施をめざす。

収入に関係なく一律1割となっていた。利用者が増え続け434万人(11年度)に達し、保険財政も厳しいため、政府の社会保障国民会議は今月上旬、「一定以上の所得のある利用者負担は引き上げるべきだ」と提言した。

これを受け、厚生労働省は秋から社会保障審議会で見直し作業を本格化させる。医療保険の利用者負担は

療保険では、70歳以上の患者は1割負担が基本だが、収入が「現役並み」の場合は3割。国民会議の提言はこれを意識したものだ。厚生労働省は「1割をいきなり3割にするのは難しい(幹部)との理由で、2割で見直しを進める方針だ。引き上げ対象の年収基準については、①医療保険と

同じ(夫婦世帯で年収520万円) ②典型的な年金収入の水準(夫婦世帯で277万円。夫が平均的年収で40年間働き、妻は専業主婦のケース) ③など複数の案が想定されている。

# 業者と契約 大阪の鍼灸院

## 給湯室で診察 触診もなし

## 架空のはり治療 年に160日

患者紹介ビジネスを手がける業者と契約し、患者を集めて医師の診療を受けさせていた鍼灸院を大阪市南部の住宅街で見つけた。

▼1面参照

「保険なら安く」

50代女性は昨春、整体治療も行うこの鍼灸院で腰のマッサージを受けた。終了後、「保険診療にすると安くなる」と誘われ、2階へ連れて行かれた。

案内されたのは、狭い給湯室だった。スーツ姿の男性が丸イスに腰掛けている。「どこが痛いですか」と聞かれたが、触診はなか

った。話はすぐに終わり、帰り際に名刺の拡大コピーを渡された。大阪・心斎橋の開業医だった。

昨年末、医療費通知が届いて驚いた。あれから医師に会っていないし窓口負担分を払っていない。それなのに毎月1〜2回の診察を受けたことになっていた。

### 雑居ビルに診療所

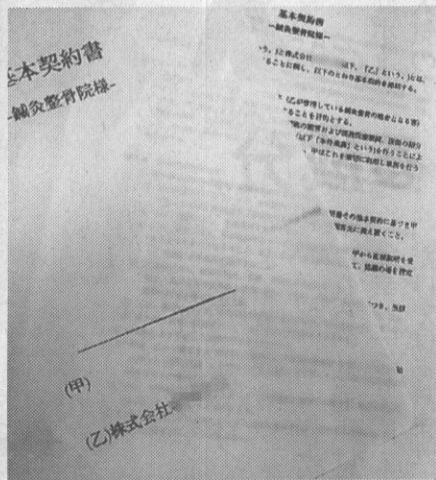
記者が医師の名刺の住所を訪ねると、飲食店や風俗店が立ち並ぶ一角の古い雑居ビルだった。診療所の看板は見あたらない。1階の居酒屋のわきの通路を奥に進むと、突き当たりのガラス扉に診療所名が書かれ、診療時間は「平日午後4時半〜午後9時半」とあった。

### お小遣い2万円

別の患者は鍼灸院にほとんど通っていないのに、はり治療を毎月15〜20回受けたように保険請求されていた。ある患者は「この日に治療していたことになっておいて」と、1年分の架空治療日に○の付いたカレンダーを手渡された。160日分に○がついていた。鍼灸院から月2万円の「お小遣い」をもらったと話す患者もいるという。鍼灸院は取材に回答していない。

取材依頼の文書を渡したが、回答は来っていない。50代女性の医療費は外来にしては高く、訪問診療扱いされたとみられる。しかもマッサージを受けたのに、はり治療されたことになっていった。はり治療は医師の同意書があれば最大3カ月間、何回でも保険請求できる。患者への医療費通知や患者らの証言によると、鍼灸院も架空請求をくり返していた疑いが強い。

① 紹介業者と鍼灸院の契約書。「医師を紹介することを目的とする」と書いてある  
② 鍼灸院で診察した医師の診療所 7月9日、大阪・心斎橋(いずれも画像の一部を修整しています)



患者紹介ビジネスなど「医療とカネ」に関する情報を特別報道部に電子メール (tokuhoubu@asahi.com) にお寄せ下さい。